

開講科目名 Course	租税法基礎研究 / Tax Law spadework
時間割コード Course Code	17903
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 前期
曜限 Day, Period	土 / Sat 3
開講区分 semester offered	前期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	服部 由美
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	10階ホール
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	服部 由美 (法学研究科修士課程)
授業の目標	受講生に、租税法を研究するのに必要な法学の基礎について、全般的に学んでもらう。
授業の概要	前半は、おおむね、テキストに従って、租税法律主義、法令の解釈、「税法の読み方」「判例の読み方」等を学ぶ。 後半は、民法、刑法、民事訴訟法等の基本について、租税法の理解に必要な範囲で、学びつつ、租税訴訟の基礎についても、習得してもらう。
評価方法	出席及び授業への参加姿勢、貢献度、レポート等を総合的に勘案して評価する。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	第1回 法解釈学、法令解釈の手法 第2回 法的三段論法、 第3回 税法の読み方、法令用語 第4回 税法の読み方、法令用語 第5回 判例の読み方 第6回 判例の読み方 第7回 憲法と租税法律主義 第8回 憲法と租税法律主義 第9回 民法の基礎と税法 第10回 民法の基礎と税法 第11回 民法の基礎と税法 第12回 民事訴訟法の基礎・要件事実論 第13回 租税訴訟 第14回 租税訴訟 第15回 刑法の基礎と租税処罰法
テキスト	
参考書	金子宏「租税法第24版」(2021年・弘文堂) 「税法の読み方 判例の見方改訂第三版」(2014年TKC出版)
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	事例に基づいたグループディスカッションを数回行う。
実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	授業終了後に声をかけてください。 原則として、対面以外の質問は受けません。 (オンライン授業の場合は、キントンとします。)
フィードバックの方法	キントンにて行います。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	予習のペーパーを配った場合には、約30分から1時間。 復習については、毎回、約1時間。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標(1～10)	
SDGs 17の目標(11～17)	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	